



# 身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2023.12.14

2023年の活動は終了！ 1/10から再開です

月2回（第二木曜日・第四金曜日）（雨天は小雨でも中止）

9:30 JR社宅（イーストハイム）南側街路観察

10:00 帝京大学病院北側の御成橋から再出発

問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

## 命を踏みにじる足跡

整備された植え込みの下に残る人の踏み跡↓



## 植物＝自然観察はすべての命を慈しむ

石神井川観察のこの1年間、帝京大学附属病院前の遊歩道の「改修工事」にこだわって観察を続けてきました。わたしたちの暮らしの足元にある野草を「雑草」として敵のように扱い、根絶を図ることが「みどりのまちづくり」とか「自然を守る」とどうつながるのか……。この根本疑問は深まるばかりです。



ドウダンツツジの紅葉（JR社宅の裏庭）↑



## だれも気付かないけれど・・・



←**ハキダメギク** 掘り返された植え込みの土の中からたくさん顔を出していました。

命名は牧野富太郎。ゴミ箱の下など、どんな荒地にも生えるので付けられた名前ですが、牧野さんがどうしてもよい草として扱ったのか、そうではなくて、その生命力の強さを賛美して命名したのか、よく分かりません。でも、こういう命が生きられなくなる世界とは人間も生きられなく世界であることは確か。

### コニシキソウ→

アスファルトや敷石の隙間から命を伸ばして、誰にも気づかれずに花を付けています。人は、もしかして「ゴミが落ちている」と思って歩いているのかも・・・。



## 秋が長いのか、冬が遅いのか



←**ススキ** 小穂（しょうすい=小さな花が連なって咲いている穂）から花粉が飛び出して、現在交配中。

一年中咲き続けています。よく観察すると、開花を終えた茎は枯れて、新しい花茎が根元から伸びてきて咲き直しています。今年になって、3度目か4度目の咲き直し

↓**キュウリグサ** これは例年並みの開花

### エノコログサ↓

本来は秋の草ですが、最近では春から冬まで



### セイタカアワダチソウ→

大型で繁殖力旺盛なので好かれていませんが、実（み）はまさに泡（あわ）！

